

平成 26 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	古代アメリカの比較文明論
領域代表者	青山 和夫（茨城大学・人文学部・教授）
研究期間	平成 26 年度～平成 30 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、中米メソアメリカと南米アンデスという二大文明に着目することによって、従来の世界史を大きく書き換えようとする研究提案であり、古代アメリカの比較文明論に新たな展開をもたらす成果が期待される。また、新学術領域研究「環太平洋の環境文明史」（平成 21～25 年度）の研究実績を踏まえて、新たな角度からの研究展開を図るものとしても高く評価された。領域推進の計画についても、これまでの共同研究の経験を生かし、詳細かつ具体的に示されており、よく練られたものである。</p> <p>一方で、本研究領域における文明論が明確でなく、環境と文明の関係をいかにとらえようとしているのかについては不明瞭な部分が残っている。特に、比較のための適切な分析枠組みをつくるために、研究計画にさらに工夫が必要であることが指摘された。また、研究項目 A04 の計画研究「植民地時代から現代の中南米の先住民文化」については、他の 3 つの研究項目に比べると異質性が高く、全体がどのように統合されるのかという点が説得的に示されなかった。研究の実行可能性をさらに高めるため、領域全体として研究項目間の有機的な結合を生み出す、より精緻な枠組みの構築が望まれる。</p>